



ロータリー:
変化をもたらす

2017~2018 年度

国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 小池平一郎 ◆副 会 長 / 橋詰 希望
- ◆幹 事 / 小林 秋生 ◆クラブ広報・情報委員長 / 依田 晋一



NO. 1401 平成30年2月20日

◆点鐘	小池平一郎 会長
◆SAA	加藤 輝男 委員
◆ソング	それこそロータリー
◆ゲスト	朴敏貞 様(米山奨学生)

【会長挨拶】 小池平一郎 会長

昨日 19 日は二十四節気では“雨水”で、雪が雨に変わり、草木が芽吹き始める時季とのことです。朝 6 時半のラジオ体操の時に、だいぶ明るくなり、寒くても少し春を感じる頃となりました。

18 日の日曜日、RI 第 2600 地区 東信第 1. 第 2 グループ 合同の 2017~2018 年度の IM・会員セミナーが佐久 RC の主幹で佐久ランドホテルで開催されました。参加された会員の皆様、ご苦労様でした。230 余名の参加で盛大に開催されました。来期は我がクラブも東信第 2 グループの上田東 RC と共催で担当となりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

第 1 部の会員セミナーは宮坂宥洪パストガバナーが講師で「日本人の職業観」と題してお話しされました。かつてロータリーの会でキリスト教・ユダヤ教・イスラム教の文化圏の人達は生きる糧を得る労働は神から与えられた罰であるという考えがあると言う話を聞いたことがあり、職業奉仕に対する考え方が日本人と違うという認識はありましたが、この講演を聴いて、改めて日本人の職業観と日本のロータリーの職業奉仕の考え方に納得することができ、大変有意義なお話が伺えたと感じました。セミナーの詳細については、この後、加藤会員が報告して下さるので、お聞き頂ければと思います。

もう一つ、懇親会の席で新入会員の紹介があり、新入会員が壇上にあがり、我がクラブの鴨下直哉会員も紹介され、関邦則ガバナーと握手されたのは素晴らしいハプニングで佐久ロータリークラブの配慮に感謝です。

この所、テレビも新聞も平昌オリンピックの話題でもち切りですが、男子フィギュアスケートの羽生結弦選手と宇野昌磨選手の金銀二人並んで表彰台というシーンと、男子 66 年ぶりのオリンピック二連覇という記事は圧巻でした。

それにも増して茅野市出身、相澤病院の小平奈緒選手のスピードスケート女子 500M での五輪新記録での金メダルは思わず涙腺がゆるんでしまう程の快挙でした。小平選手を育てた結城匡啓(ゆうきまさひろ)コーチ(信州大学の教授でもある)は、長野オリンピックの男子 500M の金メダリスト、清水宏保選手の指導者でもあり、選手の素材を見極めこれを磨き上げていく眼と指導力を持ったコーチというのは素晴らしい人だと思いました。

【幹事報告】 小林 秋生 幹事

1. ローターアクトより第 41 回地区年次大会仮登録について
日時 5 月 26 日(土)
会場 上田東急 REI ホテル
2. 伊那中央ロータリークラブより創立 30 周年記念誌

【本日の配布物】

週報 1400 号

◆出席報告 中河 邦忠 委員長

会員数 22 名	出席義務者 21 名	免除者 1 名
本日	出席 15 名	
	事前 MU 0 名	66. 67%
前々回(2/6)	MU 1 名	86. 36%

◆ラッキー賞

NO. 14 掛川興太郎 君

◆ニコBOX 黒澤 明男 委員長

掛川興太郎君	ラッキー賞、有難うございました。
橋詰 希望君	IM、旅行の為欠席し、すみませんでした。米山奨学生の朴さんが一時帰国の為、3 月 6 日の創立夜間例会欠席させていただきます。
青松 英和君	遅刻しました。
小林 秋生君	企業は人なりと言うことで、我社では、社員(現在はリーダー以上の役付き)から人間ドックまたはペット映像診断を受けることを実施しています。(3 年に一度)
小池平一郎君	IM・会員セミナー大変良かったです。朴さん今月も頑張ってください。
前田 博志君	みんなちゃん、頑張って!

【本日のプログラム】 「IM・会員セミナー報告」 加藤 輝男 会員



国際ロータリー第 2600 地区 IM・会員セミナーに参加して、思った事その感想文として発表したいと思います。

まず、講師として真言宗 智山派照光寺の住職 宮坂宥洪様が講演されました。演題として「日本の職業観」と題して話をされました。

その中でロータリーの目的はただ奉仕団体ではなく又そのロータリーを利用して職業でお金を儲ければいいと考えるのではなく職業を通じて世間のお役に立つ事が大切なのです。

又、日本の職人は自分に誇りを持っていて、その人達は皆な自分の道を極めていました。仕事をする時は必ず仕事をさせて下さいと感謝の気持ちを持ってやる事が大切です。

鎌倉初期に道元という禅僧がいました。この人は食事を作る事、食べる事、授かる事、掃除をやる事全部大切な事だと悟っていたそうです。勤労感謝の祭日にちなんで天皇が新嘗祭（にいなめさい）を行うそれは食事をする時にお米に感謝して食べ、何人かの人々は職業を通して社会に還元してやると言う事です。やはりロータリーの目的は奉仕の心なのだと思います。

二人目の講師として米山親善大使として中国生まれの于 咏（う えい）様が講演されました。演題は「報恩・奉仕・繁栄」まず、私は日本に憧れ、日本に留学したいといつも願っていました。留学するにも資金が 150 万円は最低必要でしたが当時、中国では父親の給料が月収 3 万円でした。普通では簡単に留学出来ません。しかし、親がなんとか工面をして資金を集め、日本に留学する事が出来、ほんとうにうれしかったそうです。

日本に来てお金を稼がなくては生活も出来ません。そして、まず始めた最初の仕事が新聞配達でした。その他にアルバイトを一生懸命しながら生活費を作りました。

そして、日本に来て 9 年目に米山記念奨学金として 14 万円を頂く事になり、日本の皆様、ロータリークラブの皆様本当に私を助けて頂いて有難く感謝をしていました。

更なる自分の成長のため、心理学博士号を取得、現在は生命保険会社の営業所長を務め、保険に関しての試験はほとんど取得しているそうです。

又、鷹からの教訓としてビデオを見せて頂きました。鷹は 40 年位たつとくちばしとか足の爪が弱くなり獲物を捕まえづらくなって来るそうです。その時は崖岩に行き、自分のくちばしを岩に叩いて割ってしまうそうです。その後新しいくちばしが出来てその丈夫なくちばしで足の爪を取ってしまい、新しい爪が伸び又羽根も一本一本くちばしで取ると新しい丈夫な羽根が生えて来るそうです。それによって残り 30 年位生き延びられるそうです。

その教訓として 40 年で人生終わりか、長く生きられる様、人間も自分の方向性とか考えて行ってほしいと言う事です。

最後に人間の生きる目的として

- ① 自ら成長する ② 人々に何事にも尽くしていく事 それが出来ることがロータリーなのです。

皆様にほんとうに感謝しております。ロータリーの皆様に助けられた事、優しくされた事、いつまでも忘れません。又海外のロータリークラブにも米山記念奨学事業を PR して行きたいと願っていました。

中国から一人で来日して語学を覚え、大学を卒業して博士号を取り、会社の営業所長として活躍している事は素晴らしいと思いました。

次週のプログラム:2月27日 「創立 30 周年記念式典打ち合わせ」

次々週のプログラム:3月 6日 「創立夜間例会」